

2020-2021 助成金プログラムガイドライン

Keiro は 1961 年に創立され、日系アメリカ人および日本人コミュニティの高齢者とその介護者の生活の質を向上させるという理念の下、ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティを中心に活動する NPO 法人です。当「助成金プログラム」は、高齢者とその介護者の変化するニーズに対して、彼らが『我が家』と呼ぶ場所で支援したいという Keiro の目標を促進させる 1 つのプログラムです。すでに日系アメリカ人と日本人のコミュニティにいる高齢者、その家族、そして介護者にサービス提供している団体が多数あることを認識しています。サービス提供地域の中で、私たちの理念と目標に沿っている団体の取り組みを共有できる資源を通じて支援することで、最大限のインパクトを迅速に達成することを目指しています。

新型コロナウイルスは、私たちのコミュニティにいる高齢者とその介護者が社会的に孤立するリスクを高めています。今年度は、社会的孤立のリスクにさらされているコミュニティ内の高齢者と介護者に支援の手を差し伸べるアウトリーチ活動と、社会との交流を推進する支援プログラムを重視します。アウトリーチ活動には、新しい参加者を含めること、またしばらく連絡がないメンバーへのアウトリーチ等も含まれます。どちらの形態のアウトリーチ活動も優先されま。Keiro は「助成金プログラム」を通じて、引き続き日系アメリカ人と日本人コミュニティの高齢者とその介護者の社会的孤立の軽減に焦点を当ててまいります。

社会的孤立は健康を脅かすとして懸念されており、個人と社会の接触が全くまたはほとんどない状態と定義されています。米国科学・工学・医学アカデミー (National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine: NASEM) は新たな報告書で、65 歳以上の高齢者の 4 分の 1 近くが社会的孤立状態にあると指摘しています。私たちのコミュニティが自宅待機と対人距離の確保を強いられているのに伴い、孤立と孤独のリスクが増えています。社会的孤独につながるリスク要因には、1 人暮らし、移動の困難、病弱または健康状態の悪化、人生の転換期(節目)、社会的障壁、アクセスの不足／不平等が含まれます (AARP 財団(AARP Foundation))。社会的孤立と孤独は異なります。孤独とは孤立、帰属意識の欠落、または交友の不足に関する主観的な感情を示すものです。米国科学・工学・医学アカデミーによる最近の研究では、早死にするリスクを高めるあらゆる要因の中でも社会的孤立がリスクを大幅に高めるそうです。また、社会的孤立が認知症、心臓病、脳卒中のリスクと関連していることが明らかになりました。

以下のガイドラインでは、2020-2021 年の助成金プログラムについての概要を説明させていただきます。また、オンラインでの説明会も複数回実施し、申請されたい団体様向けに申請方法や昨年との変更点などについてご説明いたします。申請プロセスなどの質問についても受け付けています。説明会の日程や時間、その他の情報は Keiro のウェブサイトよりご覧ください。参加するには申し込みする必要があります。

目的と目標

- 日系アメリカ人及び日本人コミュニティの高齢者及びその介護者の方の生活の質を向上
- 日系アメリカ人及び日本人高齢者及びその介護者の社会的孤立を軽減
- 孤立のリスクにある方へ手を差し伸べ、コミュニティ内でのプログラム、イベントなどを通じ支援する、あるいはそれらのプログラムの提供範囲を拡充させる
- 文化的な背景を考慮したプログラムやサービスの促進

サービス提供対象者

- Keiro の助成金は、私たちのコミュニティの高齢者及び介護者の方を対象にしたサービスやプログラムを支援します。助成金を受け取るにはプログラムが主に三つのカウンティ内に住む日系アメリカ人および日本人高齢者を対象にしている必要があります。

助成金プログラムの内容について

2020-2021 年度の助成金プログラムは総 25 万ドルを授与いたします。多くの場合、サービス提供する対象者が複数いる場合もございます。以下一つもしくは両方へのサービス提供していることを前提とします。

助成金の期間は 1 年です。複数年にまたぐ支援は実施いたしません。

● 高齢者へのサービス

全ての日系アメリカ人成人のうち 4 人に 1 人が 65 歳以上です。これはアメリカの全人口の 65 歳以上の成人の割合の 2 倍です。私たちのコミュニティの高齢化は他より早いペースで進んでおり、当地域にいる日系アメリカ人と日本人の高齢者はより長生きする傾向にあります。

Keiro では、日系アメリカ人と日本人の高齢者が『我が家』と呼べる場所で暮らしと健康を効果的に管理し、安心して年を重ねて行けるよう適切な知識、リソース、援助を提供できる支援をしたいと考えています。

助成金は、最も支援を必要としている高齢者の社会的孤立を軽減し、健康と生活の質を向上させるサービスを支援します。以下、サービスの例です(これらに限定されるわけではありません)：

- 社会的孤立を軽減できるよう日系アメリカ人および日本人の高齢者の方がコミュニティに属していると感じられるように取り組む
- 安全に暮らせる限りは自立して暮らしたいと希望する高齢者を支える。
- 極めて重要なコミュニティのプログラムとサービスへのアクセスを改善する。
- 高齢者とその家族が十分な情報に基づいて意思を決定し、良く考えた上で(終末期を含む)計画を立てられるようにするための教育を行う。

● 介護者への支援

人々の寿命が伸び、施設機関よりも自宅で暮らすことを選ぶ人が増えるにつれて、家族介護者に対する要求と負担も増えつつあります。介護者は絶え間ない様々なストレスや、介護者という役割に伴う負担がのしかかります。多くの介護者にとっては時間が経つにつれて要求が増えます。しかしながら、休む時間はほとんどありません。Keiro はコミュニティの中でニーズが高い高齢者を手助けする介護者を支えたいと考えています。

今日、日系アメリカ人のほぼ 3 人に 1 人が介護者です。ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティには日系アメリカ人および日本人の介護者が 57,000 人近くいます。そのうちの 3 人に 2 人が女性で、大部分が家族です。

助成金は、介護者に支援を提供する団体または高齢者に介護サービスを提供する団体に授与されます。以下、サービスの例です(これらに限定されるわけではありません)：

- 介護の身体的・精神的・金銭的負担を緩和するための介護者支援システムを強化する。
- 正しく訓練を受け、文化に配慮し、幅広いニーズに順応し、適切な自宅でのケアが提供できる専門的介護者と私的介護者の両方を十分供給できる方法を作り上げる。
- 文化に配慮した適切な介護にアクセスできない最も脆弱な高齢者のニーズに取り組む。
- 介護者が自分自身と家族のために自信を持って意思決定を行えるような支援に取り組む。

授与金額と条件について

資金授与の金額は、最大で 1 団体に付き\$15,000 です。助成金はプログラム支援、資本投資、能力構築、および運営全般の支援のいずれかあるいは複数に充てられます。一つの団体が複数の申請書を提出することも可能ですが、その場合においても最大額は\$15,000 になります。

助成金は、年間運営予算 100 万ドル以下の団体が優先されます。

受領した団体については受領期間の 12 か月の間に、中間および最終報告書をご提出いただきます。報告書にはプログラムがどのようにして社会的孤立の軽減に貢献しているかを示す定量的および定性的測定情報を含めることが求められています。

助成金の支援は以下のような団体やプログラムが優先されます：

- Keiro の助成金プログラムの目的に沿っている
- 日系アメリカ人及び日本人高齢者及びその介護者の社会的孤立を軽減させている
- 社会的孤立のリスクにある高齢者及び介護者がプログラムに参加できるようアウトリーチ活動を行っている
- 私たちのコミュニティにおける高齢者や介護者の差し迫ったニーズや機会に取り組んでいる
- 日系アメリカ人・日本人の文化に配慮している
- 私たちのコミュニティの高齢者の生活の質に説得力のある成果とインパクトをもたらす
- プロジェクトを効果的に遂行できるような、現実的なプログラム予算と能力を有する

支援の種類

すべての助成金受領団体のプログラムは、専門家の推奨事項に従い安全に提供されていることを前提とします。助成金が支援するプログラムは主に次の種類に分けられます：

- **プログラム促進 (Program development)** 新たなプログラムを始める、もしくは既存のプログラムやサービスを強化することです。例：資料の翻訳、アウトリーチ活動、送迎サービス、文化に配慮したアクティビティ、症例管理等。
- **能力構築 (Capacity building)** 団体の計画立案、管理の効率化、システムや手法の改革、あるいは持続可能性の構築を支援することです。
- **コアな運営 (Core operations)** 高品質で、必要性が高く、成果が実証され、参加率が高いサービスの提供を持続することです。
- **資本投資 (Capital investments)** 設備機器の購入や改修プロジェクトへの資金供給などが含まれます。

申請資格について

申請する内容は、以下の対象者に向けて及び場所においてプログラム、サービスを提供している必要があります：

- 日系アメリカ人及び日本人コミュニティの高齢者及び介護者へ主にサービス提供している
- ロサンゼルス、オレンジ、あるいはベンチュラカウンティにてサービス提供している

申請団体は以下のいずれかに該当する必要があります：

- IRS で定められている 501(c)(3)非営利団体ステータスを持っている
- 501(c)(3) 団体が財務代理機関 (Fiscal Sponsor) となっているコミュニティ団体
- 宗教法人についてはコミュニティのすべてのメンバーにサービス提供する場合に応募可能となる

申請対象外

申請対象外者は以下の通りです：

- ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティ以外でサービス提供しているプログラム
- 政府機関や組織
- 医療リサーチ目的
- 個人
- 資金集めの行事
- 基金
- 政治活動や政治運動
- 助成金提供組織や他の団体に授与する目的

期日・締め切り

今年は安全に考慮し、すべての申請書類は電子メールにて grants@keiro.org へご提出ください。

申請は、安全を考慮し今年は Keiro オフィスへ直接提出はされないようご協力をお願いいたします。郵送される場合は期日までの消印があるものに限り受け付けます。

印刷されたハードコピーでの提出も可能ですが必須ではありません。郵送される場合は以下の住所へ送付をお願いします。

Keiro
ATTN: Grants Program
420 East Third Street, Suite 1000
Los Angeles, CA 90013

提出期限

最終締切期限は **2020年10月30日西部時間午後5時**です。早期提出をお勧めいたします。受領団体の発表は2021年3月上旬を予定しております。

助成金についてのお問い合わせは grants@keiro.org もしくは213.873.5703までご連絡ください。